



LEDスピードメーター&タコメーターキット 取扱説明書

商品番号 : 09 01 3081
: 09 05 0083 (KSR110用電気式タコメーター)
適応車種 : KAWASAKI KSR110
フレーム番号: KL110A 000001~

- ・この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。
- ・取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

～特徴～

スピードメーターはオドメーター付きで140km/hまで測定出来ます。
タコメーターは精度の高い電気式で、最高表示回転数は14,000rpm。
メーター本体は耐久性の高いステンレスを使用し、ラバーマウント式により振動低減させています。

ご使用前に必ずお読み下さい

取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。
当製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。
他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。
当製品は、上記適応車種、フレーム番号の車両専用用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意下さい。
当製品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。
補修部品につきましては商品番号及び図中の番号にてお申し込み下さい。尚、不明な点がございましたらお買い求め販売店にお問い合わせ下さい。
スパークプラグは必ず抵抗入りプラグを使用し、ハイパーC D Iを除いて、他の点火系部品との併用はなさないで下さい。タコメーターが正常に作動しなくなります。
外品のバッテリーレスキットとの同時装着はしないで下さい。
新車時など新品バッテリーを使用している場合に初期の一定期間タコメーターの表示が実際より多く表示される場合があります。
そのまま車両を使用しバッテリーの充放電が繰り返されることにより症状は出なくなります。予めご了承下さい。

注意 下記内容を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

- ・一般公道では、法的速度を守り遵法運転を心掛けて下さい。
(法定速度を超える速度で走行した場合、運転者は道路交通法、速度超過違反で罰せられます。)
- ・作業等を行う際は、必ず冷間時(エンジンおよびマフラーが冷えている時)に行ってください。(火傷の原因となります。)
- ・作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。(部品の破損、ケガの原因となります。)
- ・規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行ってください。(ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。)
- ・製品およびフレームには、エッジや突起があります。作業時は、手を保護して作業を行ってください。(ケガの原因となります。)
- ・走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みがないかを確認し緩みがあれば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。
(部品の脱落の原因となります。)

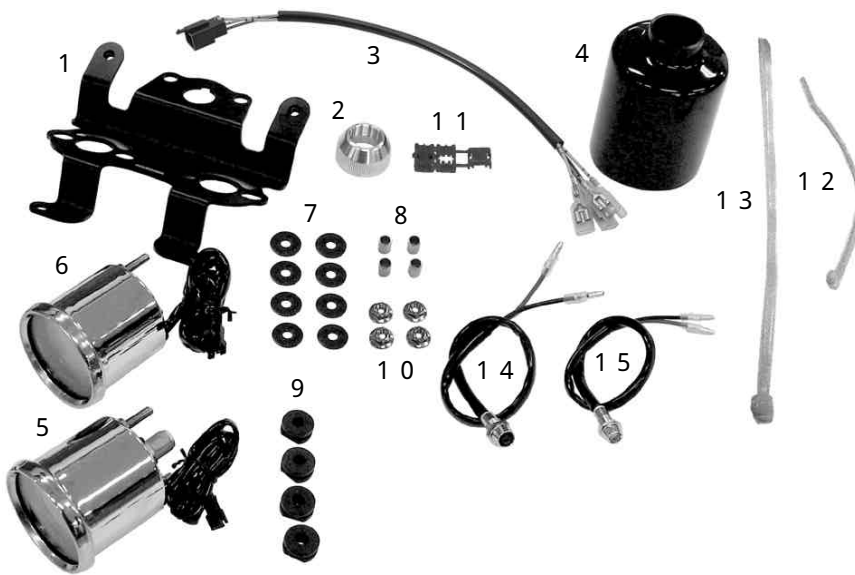
警告 下記内容を無視した取り扱いをすると、人が死亡したり重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- ・エンジンを回転させる場合は、必ず換気の良い場所で行ってください。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。
(一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)
- ・走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。(事故につながる恐れがあります。)
- ・作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行ってください。(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)
- ・点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行ってください。
(事故につながる恐れがあります。)

性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品および価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。
クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。

なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。予めご了承下さい。
この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

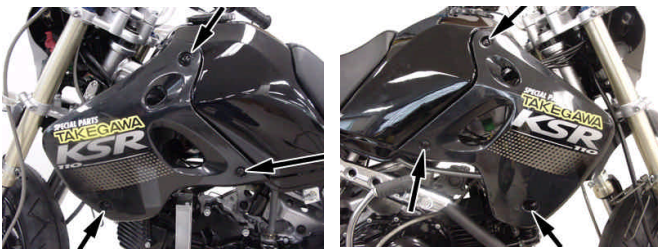
～商品内容～



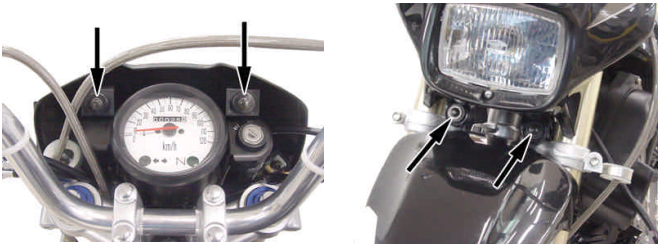
番号	商品内容	数量
1	メーターステー	1
2	イグニッションスイッチカバー	1
3	メーターサブコード	1
4	ハーネスカバー	1
5	LEDスピードメーター	1
6	LEDタコメーター	1
7	ブレンワッシャ	8
8	カラー	4
9	クッションラバー	4
10	六角ナット 5mm	4
11	エレクトロタップ	1
12	タイラップ 150mm	3
13	タイラップ 250mm	1
14	LEDインジケーターランプ(グリーン)	1
15	LEDインジケーターランプ(オレンジ)	1

～取り付け要領～

1. 左右シュラウド固定ボルト各3本を外し、左右シュラウドを取り外して下さい。



2. フロントカウル固定ボルト各4本を外し、フロントカウルのヘッドライトユニットの6極カプラ(白)の接続を外し、フロントカウルを取り外して下さい。



3. タンク左下車体側面のスピードメーター用6極カプラ(黒)を取り外し、エアクリナーボックス固定ボルト2本と、ハンドルロックキーシリンダー後方のコードクランプ固定ボルトを外して下さい。

エアクリナーボックス固定ボルト



6極カプラ

コードクランプ
固定ボルト

4. タンク右下側のイグニッションスイッチ用2極カプラ(白)の接続を外し、イグニッションスイッチカバーを取り外し、STDメーターステーよりイグニッションスイッチを取り外して下さい。

5. スピードメーターケーブルを取り外し、トップブリッジ裏面のメーターステー固定ボルト2本を外し、メーター及びメーターステーを取り外して下さい。



6. メーターステーにクッションラバーを取り付け、カラーをクッションラバーに差し込んで下さい。



7. それぞれのメーターネジ部にブレンワッシャを通し、メーターステーのカラーにメーターネジ部を差し込み、ブレンワッシャ、六角ナットの順で取り付け固定して下さい。この時、スピードメーターが右側になるよう取り付けて下さい。注意：規定トルクを必ず守って下さい。

六角ナット $T = 4.9 \text{ N} \cdot \text{m} (0.5 \text{ kgf} \cdot \text{m})$

図A参照



8. メーターステーに、インジケータランプをはめ込み、インジケータランプ付属のスプリングワッシャ及びナットにて固定して下さい。



9. メーターサブコードをSTDメーターコードと同じ取り回しでフレームに沿わせ、タンク左下車体側面のスピードメーター用6極カブラ(黒)と接続して下さい。
10. 左タンク下車体側面の左ハンドルスイッチ用9極カブラ(緑)のカブラ付近のビニールテープを剥がし、橙コードとメーターサブコードの橙コードをエレクトロタップにて接続して下さい。
11. 項目(7)で組み立てたメーターステーを、STDメーターステーと同じトップブリッジ裏にSTDフランジボルトにて取り付け固定して下さい。
この時、左側メーターステー取り付けボルトにてケーブルクランプを忘れずに取り付けして下さい。
注意：規定トルクを必ず守って下さい。
STDフランジボルト T = 6.9 N・m (0.7 kgf・m)

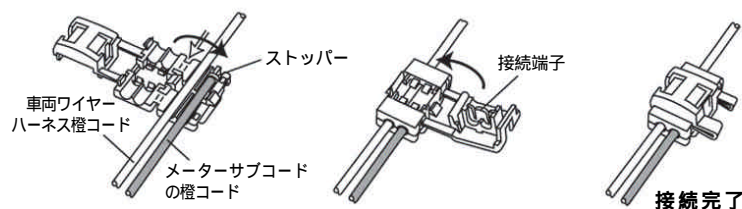


12. メーターステーにイグニッションスイッチをはめ込み、イグニッションスイッチカバーにて固定して下さい。
この時、メーターステーの凹部とイグニッションスイッチの凸部が合うようにはめ込んで下さい。



13. イグニッションスイッチのコードを車体左側から取り回しし、車体側2極カブラ(白)を車体左側に移動させ接続し、項目(3)で外したコードクランプ及びエアクリーナーボックスを取り付けて下さい。
この時、イグニッションスイッチ根元部のコード補強金物を車体後方へ曲げて下さい。イグニッションスイッチコードはタンクとエアクリーナーボックスの間を通して下さい。
14. スピードメーターにスピードメーターケーブルを接続し、ハーネスカバーにインジケータランプ、各メーターのコードを通し、インジケータランプのコードをメーターサブコードと接続して下さい。
15. スピードメーターのコードと、メーターサブコードと接続して下さい。
16. タコメーターのコードの、緑及び黒の配線をメーターサブコードと接続して下さい。
17. タンク左下側のイグニッションコイルコード(赤)のギボシの間にタコメーターの黒/黄コードを接続し、レギュレータと共締めしてあるコードクランプを通して下さい。
18. メーター及びインジケータランプのコードは邪魔にならない様ハーネスカバー内で束ね、タイラップにてしっかりと固定して下さい。
19. フロントカウルのヘッドライトユニットの6極カブラ(白)を接続し、フロントカウルをSTDボルトにて取り付け固定して下さい。
20. エンジンを始動し、各メーターの照明ランプの点灯状態とインジケータランプの点灯、タコメーター及び油温計の作動を確認し、問題が無ければ安全な場所で低速走行を行いスピードメーターの作動を確認して下さい。
警告：必ず換気の良い場所でエンジンを始動させて下さい。
21. 作動に問題が無ければ、左右シュラウドをSTDボルトにて取り付けして下さい。

～エレクトロタップのご使用について～



接続しようとするコードをそれぞれエレクトロタップの溝に合わせ、位置決めをし(メーターサブコード側の配線をしっかりストッパーに当てて下さい。)

部分から折り返して下さい。これでコードが仮止めされます。

次に接続端子がついている方を折り返して下さい。プライヤーなどで完全にロックするまでしっかりと押さえて下さい。

～ LEDスピード、タコメーター配線図～

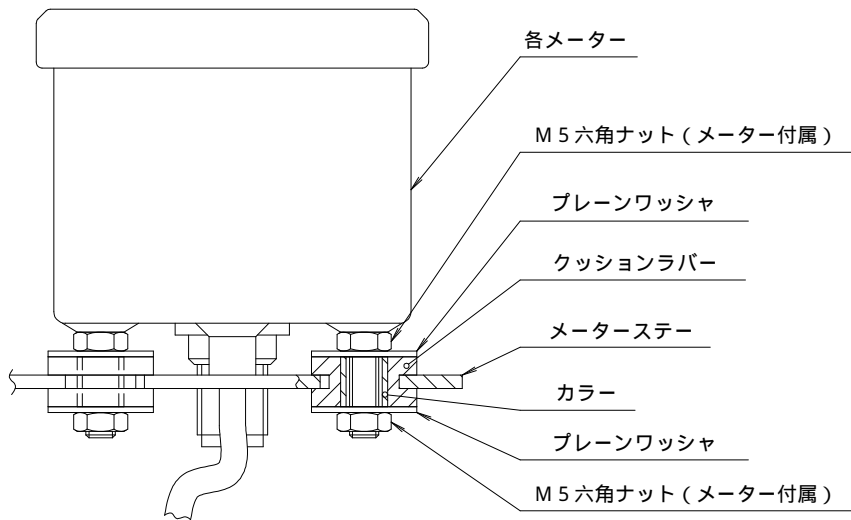
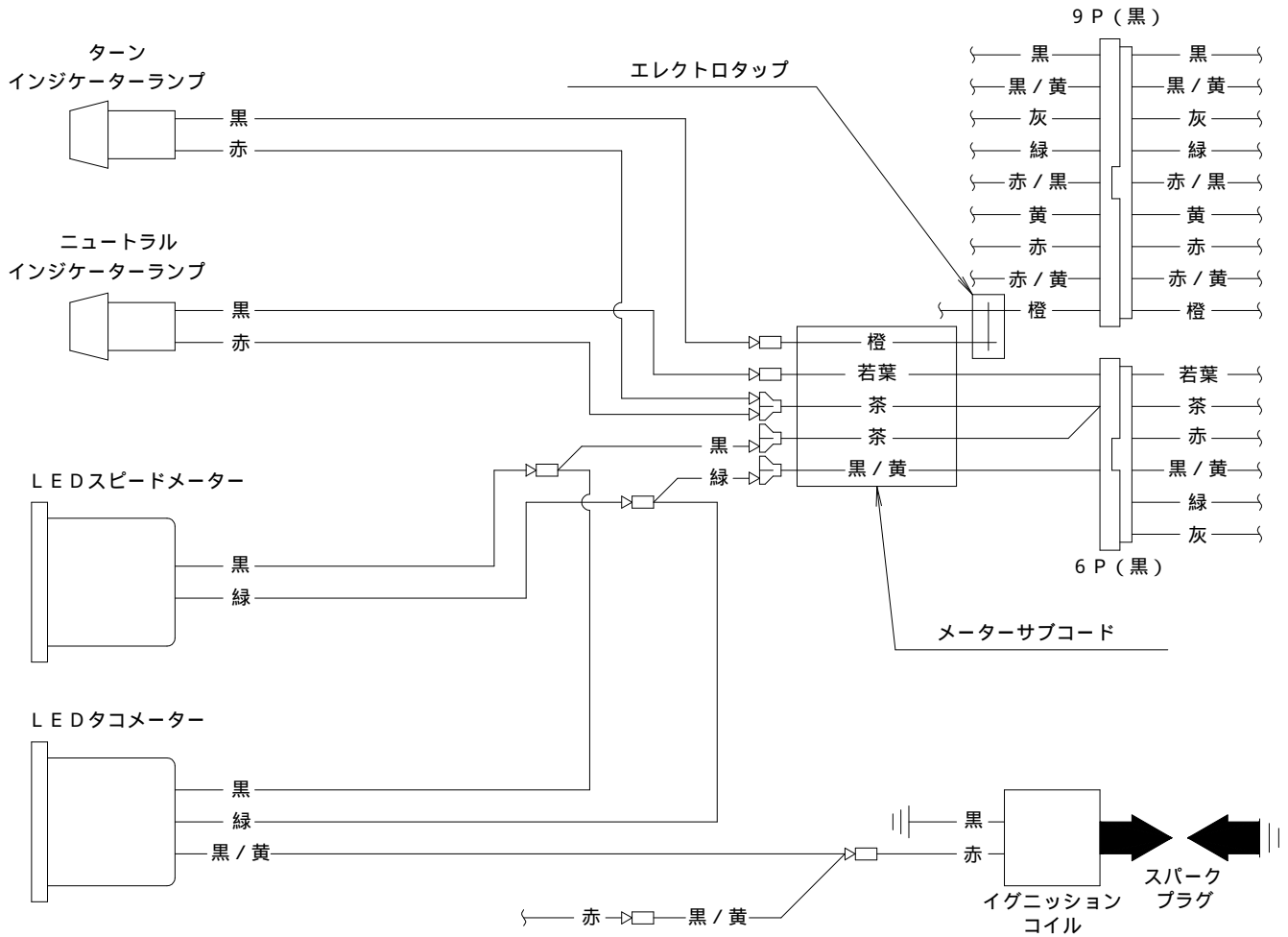


図 A

株式会社 SPECIAL PARTS 式川

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東三丁目5番16号 TEL 0721-25-1357 FAX 0721-24-5059 URL <http://www.takegawa.co.jp>
お問い合わせ専用ダイヤル 0721 25 8857